

大久保明男研究実績一覧

1996年まで遡る編年体風記録

[説明]

*この資料は大久保明男の研究活動実績を本人より整理し、明示したものです。

*期間は[2022年8月10日]現在より溯り、大学院博士課程入学の1996年までとします。

*データの更新は可能の限り半年に一度を目安に努めてまいります。

*収録データは、著書、論文、翻訳、論考、書評、劇評、報告書、紹介、解説、校閲、研究ノートなど体裁の異なる出版物を中心とし、研究報告、基調報告、学術講演、コメント、市民講座など口頭によるものと、学会、研究会、シンポジウム、ワークショップなどの学術会議における企画、運営、司会などの役割分担も収めています。新聞、雑誌などマスメディア向けのコメント、インタビューなどは収録していません。また、非公開を原則とする学内外の論文審査、査読、コメントなどは当然ここにはありません。したがって、この資料は大久保明男の研究実績や活動記録のすべてを網羅しているわけではありません。

*執筆者は、共著者の標記がない場合はすべて大久保明男です。

*この資料を公開する目的は、大久保明男の研究活動に関心を持つすべての方に、当事者より情報提供を図るとともに、公立大学に勤務する研究者・教育者として、職務内容の一部を自主的に社会に公表し、説明責任をはたすためにあり、他意はありません。

2022年

1. [論文] 東亜操觚者懇談会に関する考察——「満洲国」代表の視点から、『人文学報』（東京都立大学人文科学研究科）第518-12号、2022.3.19、pp.1-26。
2. [著書・共著] 東京都立大学中国文学研究室（編集発行）、『愉快的漢語』、2022.3.31。
3. [推薦文] 戦中期の日中文化交流を伝える貴重資料、「[華文大阪毎日復刻資料内容見本](#)」不二出版、2022.6。
4. [編集・共編] 『植民地文化学会会報』第21号、2022.7.15
5. [企画・開催・会務分担] 植民地文化学会年次総会：フォーラム（テーマ：シベリア出兵100年）、研究発表会、講演会、総会、理事会、2022.7.30-31、早稲田大学3号館（オンライン同時開催）
6. [エッセイ] 小燕子（ツバメ）はいずこへ——吉田豊子さん追想、『日中の架け橋に吉田豊子追悼集』私家版（奥村哲）、2022.7.30、pp.38-43。

2021 年

1. [エッセイ] 懐念張毓茂先生（張毓茂先生追想）、[『張毓茂先生紀念集』](#) 瀋陽出版社、2021.1、pp.445-450。
2. [論文] 紀元 2600 年の日満文学交流——満洲国作家古丁訪日の足跡を追う、『人文学報』（東京都立大学人文科学研究科）第 517-12 号、2021.3.19、pp.111-127。
3. [著書・共著] 東京都立大学中国文学研究室（編集発行）：新☆たのしいの中国語、2021.3.30。
4. [コメント] Panel7 蔡譯萱（東北師範大學）：偽滿州國都市文學對歐美文學技巧的借鑒、“[重訪中國近現代都市文學與文化](#)”國際學術研討會暨首屆“都市文化與文學”研討會 [第二場專題會議](#)（上海師範大學主催。オンライン参加）、2021.6.27。
5. [エッセイ] 常磐寮——S 君と私の「引揚げ」、[『植民地文化研究』第 20 号](#)、2021.10.20、p.38。
6. [研究報告] 大東亞文學者會議的先行模式？——東亞操觚者懇談會初探、[「東アジアの植民主義と文学研究会」年度大会](#)（台湾・清華大學、オンライン會議）、2021.10.23-24。

2020 年

1. [書評] [岡田英樹著『「満洲国」の文学とその周辺』を読む](#)、中国文芸研究会会報、第 459 号、2020.1.26、pp.5-6。
2. [研究会企画/主催/主旨説明] [『華文大阪毎日』研究会](#)、2020.2.2。東京都立大学南大沢キャンパス。
3. [報告] [「東アジアの植民主義と文学」をめぐる国際共同研究の動向——中国で開かれた二つの国際会議に参加して](#)、[『植民地文化研究』第 19 号](#)、2020.7.20、pp.178-180。
4. [司会・コメント] 羽田朝子「梅娘「小婦人」における近代女性像とナショナル・アイデンティティ」、[日本中国学会第 72 回大会](#)（オンライン會議）、2020.10.11。
5. [研究報告] 紀元 2600 年の日満文学交流——古丁訪日足跡追跡、「東アジアの植民主義と文学研究会」第 7 回年度大会（オンライン會議）、2020.11.14。

2019 年

1. [著書/共著] 木之内誠、平石淑子、大久保明男、橋本雄一：[『大連・旅順歴史ガイド](#)

[マップ](#)』、大修館書店、2019.4.20。総 208 頁。担当部分：解説項目、コラム執筆など。
ISBN : 9784469232813

2. [研究報告] 操控偽満文芸界的文化官僚武藤富男初探（「満洲国の文芸界を操る武藤富男を探る」）、[“伝播視域下的東亜植民主義研究”国際学術研討会](#)（「メディアから見る東アジアの植民主義研究」国際シンポジウム（「東アジアの植民主義と文学研究会」第6回年度大会））、2019.9.20-23、中国・吉林大学
3. [研究報告] 中國東北文化研究中的空缺和斷裂、誤區與禁區（中国東北の文化研究における空白と断裂、誤謬とタブー）、[東北文学与文化国際研討会](#)（東北文学と文化国際シンポジウム（ハーバード大学、大連理工大学、大連大学、遼寧師範大学、吉林大学社会科学学報共催）、2019.11.14-15、中国・大連
4. [研究報告] 岡田英樹『「満洲国」の文学とその周辺』（東方書店、2019.7）合評、[中国文芸研究会](#)12月例会、2019.12.22、同志社大学寒梅館
5. [講演紹介] 岡田英樹「《満洲国》文学研究の過去と現在 自伝的に」、『植民地文化学会会報』第19号、2019.12、pp.5-7。
6. [著書/共著] [Manchukuo Perspectives: Transnational Approaches to Literary Production](#) / Hong Kong University Press / 2019.12 / Total 328pages / Responsible part: Luotuosheng and Manchukuo Literature : The Literary Endeavours of a Manchukuo Student in Imperial Japan (Part II -Chapter13, pp.202-218) / Editor: Annika A.Culver / Norman Smith / ISBN : 9789888528134 / （2010年 No.5 の修正英訳版）

2018年

1. [著書/共著] 柳書琴（主編）：『東亜文学場 台湾、朝鮮、満洲の植民主義與文化交渉』、台湾・聯經、2018.6。総 490 頁。ISBN : 978-957-08-5054-3。担当部分：「何謂「満洲國語」？ 考察雑誌《満洲國語》的創刊及其言説」、pp.187-203。（2016年 No.8 の中国語翻訳・加筆版）。
2. [企画・共催・総合司会ほか] [「東アジアの植民主義と文学研究会」第5回年度大会及び「台湾／満洲／朝鮮の植民主義と文化交渉」国際シンポジウム](#)、2018.9.20-21、沖縄船員会館（那覇市前島 3-25-50）。
3. [エッセイ] 『広場』四号の刊行に寄せて、『中国東北文化研究の広場』「満洲国」文学研究会、第四号、2018.12、p.1。
4. [編集・発行] [『中国東北文化研究の広場』「満洲国」文学研究会、第四号](#)、2018.12。

2017 年

1. [著書/単著] 『偽滿洲国の漢語作家和漢語文学』（偽滿時期文学資料整理與研究・研究卷）、中国・北方文芸出版社（ハルビン）、2017.1、総 195 頁。
ISBN : 9787531736400
2. [編著/単著] 『偽滿洲国主要漢語報紙文芸副刊目録』（偽滿時期文学資料整理與研究・史料卷）、中国・北方文芸出版社（ハルビン）、2017.1、総 525 頁。
ISBN: 9787531736448
3. [編著/共著] 大久保明男、岡田英樹、代珂：『偽滿洲国文学研究在日本』（偽滿時期文学資料整理與研究・研究卷）、中国・北方文芸出版社（ハルビン）、2017.1。総 240 頁。（全体担当：企画・調整、編集、翻訳、校閲など。個別担当：[執筆] 岡田英樹、大久保明男：「略述偽滿洲国文学研究在日本 代序」、pp.1-4。） ISBN: 9787531736363
4. [編譯/共著] 大久保明男、岡田英樹、西原和海、代珂、牛耕耘：『偽滿洲国日本作家作品集』（偽滿時期文学資料整理與研究・作品卷）、中国・北方文芸出版社（ハルビン）、2017.1。総 237 頁。（全体担当：企画・運営・調整、作品選定、編集、校閲など。個別担当：[執筆] 大久保明男：「導言 《偽滿洲国日本作家作品集》出版的意義」、pp.1-5。[執筆] 岡田英樹、大久保明男：「収録作品及作家簡介」、pp.6-19。[翻訳] 大久保明男：「肌膚」（原作：秋原勝二「膚」）、pp.28-39。[翻訳] 大久保明男：「故郷喪失」（原作：秋原勝二）、pp.212-215。） ISBN: 9787531736127
5. [編著/共著] 劉曉麗、大久保明男：『偽滿洲国の文学雑誌』（偽滿時期文学資料整理與研究・史料卷）、中国・北方文芸出版社（ハルビン）、2017.1。総 676 頁。（全体担当：企画・調整、編集、校閲など。個別担当：[執筆] 大久保明男：「導言二 關東州及偽滿洲国の日語文学和文学雑誌」、pp.16-19。[執筆] 大久保明男：「第三輯 偽滿洲国の日語文学、文化雑誌鈞沈」、pp.401-439。[執筆・編集] 大久保明男：「第四輯 偽滿洲国日語文学雑誌篇目目録」、pp.440-676。） ISBN: 9787531736417
6. [編著/共著] 劉曉麗、大久保明男、岡田英樹、諾曼・史密斯 (Norman Smith)、金昌鎬、李海英、王亜民：『偽滿洲国文学研究資料彙編』（偽滿時期文学資料整理與研究・史料卷）、中国・北方文芸出版社（ハルビン）、2017.1。総 437 頁。（全体担当：企画・調整、編集、校閲など。個別担当：[執筆] 岡田英樹、大久保明男：「偽滿洲国文学在日本研究界」、pp.195-200。[編集] 岡田英樹、大久保明男：「日語研究文献」、pp.201-367。） ISBN: 9787531736424
7. [編集委員] 劉曉麗、大久保明男、張泉、岡田英樹、諾曼・史密斯 (Norman Smith)、金在湧、薛龍 (Ronald Suleski)、李海英、陳言、陳実：「偽滿洲国文学資料整理與研

- 究」叢書（作品巻、研究巻、史料巻による三部構成、全 34 冊）、中国・北方文芸出版社（ハルビン）、2017.1。（全体担当：叢書全体の企画・調整など。個別担当：日本方面の作品、史料、研究著作など。）
8. [著書/共著] 劉曉麗、葉祝弟（主編）：『創傷——東亜殖民主義與文学』、中国・上海三聯書店、2017.2。総 598 頁。担当部分：「《盛京時報》的文芸版《文学》概観」、pp.137-162。（2007 年 No.10 の翻訳・加筆版）ISBN：7542657593
9. [著書・分担執筆] 首都大学東京中国文学研究室（編集・発行）：たのしいの中国語（新訂第三版）、2017.4。（2014 年 No.2 の改訂版）
10. [解説] 西原和海[監修]：復刻版『[満洲開拓文学選集](#)』第 4 巻（鏝田研一『鏡泊湖』洛陽書院、1940. 11）解説、ゆまに書房、2017.4。巻末 pp.1-6。
11. [学術講演] 戦後日本の「満洲」叙述及其在文学上の表露（中国語）、華東師範大学人文社会科学「百場校級学術講座」、2017.7.10、中国・上海・華東師範大学
12. [研究報告] 偽満洲国の語言景觀与漢語文学作品上の語言問題（中国語）、「殖民語言 性別 文学——東亜殖民主義与文学ワークショップ」、2017.7.11、中国・上海・華東師範大学
13. [学術講演] 中国語新聞や文芸雑誌より見る満洲の言語風景、「[公開研究会 第 8 回「アジア・太平洋の日本語と日本語教育を考える会」](#) [旧満洲国の言語と文化](#)」、2017.7.22、首都大学東京南大沢キャンパス国際交流会館
14. [企画・共催・総合司会] [「東アジアの植民主義と文学研究会」第 3 回年度大会及び「台湾／満洲／朝鮮の植民主義と文化交渉」国際シンポジウム](#)、2017.9.17-18、首都大学東京南大沢キャンパス国際交流会館大会議室
15. [解説] 西原和海[監修]：復刻版『[満洲開拓文学選集](#)』第 17 巻（本間喜三治『開拓民運動のために』清談社、1940.8）解説、ゆまに書房、2017.10。巻末 pp.1-6。
16. [項目執筆] 編集委員会[編]：『華僑華人の事典』丸善出版、2017.11.30（A5 判、上製、箱入、本文 618p、ISBN：978-4-621-30176-0、定価 20,000 円＋税）。執筆項目「中国帰国者」、pp.248-249。
17. 首都大学東京オープンユニバーシティ講座企画（通年 10 講座以上担当）

2016 年

1. [解説] 西原和海[監修]:復刻版『満洲開拓叢書』第4巻(大瀧重直『光と土』、菅野正男『開拓地の春』を収録) [解題](#)、ゆまに書房、2016.1。巻末 pp.1-7。
2. [講演会企画・運営・司会] 首都大学東京中国文学研究室主催学術講演会、講師:寺尾紗穂、テーマ:伝えるということ——取材と演奏の現場から、2016.3.19、首都大学東京南大沢キャンパス。
3. [研究報告] 近年日本の「満洲国文学」研究について、国際学術ワークショップ:殖民、創傷、記憶——東アジア植民主義再考、2016.7.16、中国・上海・華東師範大学。
4. [コメント] 国際学術ワークショップ:殖民、創傷、記憶——東アジア植民主義再考、2016.7.16、中国・上海・華東師範大学。
5. [シンポジウム企画・運営・司会] 中国残留孤児問題を考えるシンポジウム、中国残留孤児問題フォーラム実行委員会主催、2016.10.2、江戸東京博物館大ホール。
6. [司会・コメント] 日本中国学会第68回大会 文学・語学部会、羽田朝子研究発表:梅娘の描く「日本」——昭和モダニズムの光芒のなかで、2016.10.8、奈良女子大学。
7. [編集・解題/共著] 岡田英樹、大久保明男:『[満洲国語——「満洲国」の言語編成](#)』(復刻、全六巻)、金沢文圃閣、2016.11。第一回配本 ISBN978-4-907236-61-8 / 2017.5。第二回配本 ISBN978-4-907236-62-5。担当[解題]大久保明男:「満洲国」の言語政策と雑誌『満洲国語』(第一巻、pp.345-359)。
8. [研究報告] 何謂「満洲國語」?:考察雑誌《満洲國語》的創刊及其言說(中国語)、「東亜植民主義与文学 国際学術研討会」、2016.11.25、台湾・新竹・国立清華大学。
9. 首都大学東京オープンユニバーシティ講座企画(通年15講座以上担当)

2015年

1. [総合コメント] ワークショップ「満洲」の記憶と表象、2015.8.8、上智大学四谷キャンパス。
2. [論文] 大東亜文学者会議與“満洲国”的“文学報国”(中国語)、『中日文化文学比較研究2015』吉林出版集团有限责任公司、2015.11、63-84頁。(2011年No.1の中国語翻訳加筆版)
3. [推薦文] 満洲引揚げの文化史的意義を考える手がかり、『[満洲引揚げ文化人資料集内容見本](#)』金沢文圃閣、2015.11。

4. [講演] “在満日系”作家筆下の“満洲”和“満人”（中国語）、「華東師範大学 2015 年百場校級講座」、2015.12.25、中国・上海・華東師範大学。

* 動画はこちら → http://www.bilibili.com/video/av8048386/index_1.html

5. [研究報告] 『盛京時報』的文芸版「文学」概観（中国語）、「[東亜殖民主義与文学 国際学術研討会](#)」、2015.12.27、中国・上海・華東師範大学。

6. [コメント] 「東亜殖民主義与文学 国際学術研討会」、2015.12.28、上海・華東師範大学。

7. 首都大学東京オープンユニバーシティ講座企画（通年 15 講座以上担当）

2014 年

1. [講演] 中国残留邦人二世・三世の帰属意識と日本での生活、中国帰国者のための日本語教室ボランティア研修会、2014.2.24、神戸県民会館。

2. [著書・分担執筆] 首都大学東京中国文学研究室[編集・発行]：たのしいの中国語（新訂第二版）、2014.3。（2007 年 No.3 の新訂版）

3. [著書・分担執筆] 柳青、侯健飛[編]：再見梅娘、人民文学出版社（北京）、2014.5。
担当部分：緬懷與梅娘交往的日子——兼思梅娘的史境和言論環境（中国語）、頁 78-92。（2013 年 No.3 の改訂加筆版）

4. [研究報告] 『盛京時報』の演劇コラム「劇哨」に見る「満洲国」末期の演劇活動、第 10 回 植民主義と文学 国際学術会議、2014.5.30、韓国・済州大学。

5. [書評] [岡田英樹著『続 文学に見る「満洲国」の位相』](#)、『植民地文化研究』第 13 号、2014.7、頁 155-157。

6. 首都大学東京オープンユニバーシティ講座企画（通年 15 講座以上担当）

2013 年

1. [国際シンポジウム企画・運営・司会] 台湾清華大学台湾文学研究所・首都大学東京中国文学研究室共催 国際学術シンポジウム「周辺からの啓示：中国現代文学研究の越境と多元的視点」、2013.2.4、首都大学東京南大沢キャンパス 5 号館。

2. [著書・分担執筆] 首都大学東京中国文学研究室[編集・発行]：たのしいの中国語（新訂

版)、2013.3。(2007年 No.3 の改訂加筆版)

3. [書評] 不条理な世界を生き抜く——中国語小説『小姨多鶴』に描かれる「残留婦人」、蘭信三[編著]: 帝国以後の人の移動 ポストコロニアリズムとグローバリズムの交錯点、勉誠出版、2013.11、頁 823-832。
4. [追悼文] [緬懷與梅娘交往的日子](#) (中国語)、『新文学史料』人民文学出版社(北京)、2013年第4期(2013.11)、頁 42-47。
5. [研究報告] 「満洲国」における「朝鮮文芸」に関する考察——中国新聞・雑誌からの一瞥、第9回植民主義と文学 国際学術会議、2013.11.1-2、韓国・大田・韓国科学技術院(KAIST)、主催: 植民主義と文学フォーラム。
6. 首都大学東京オープンユニバーシティ講座企画(通年15講座以上担当)

2012年

1. [追悼文] [川俣優先生と「満洲国」文学研究会](#)、『カルチュラル』明治学院大学教養教育センター紀要、第6巻第1号、2012.3、頁 16-17。
2. [校閲] 彭小妍[著]、岡田英樹[訳]: 漫遊する男女 横光利一の『上海』(下)、『植民地文化研究』第11号、2012.7、頁 226-238。
3. [翻訳] 黄錦樹[著]・大久保明男[訳]: シンガポール・マレーシアにおける植民地時代の中国語文学、『植民地文化研究』第11号、2012.7.15、頁 11-19。
4. [論文] 『満洲報』文芸欄の研究(一)——<星期副刊>の作家と作品、[『中国東北文化研究の広場』「満洲国」文学研究会、第三号](#)、2012.8、頁 103-141。
5. [研究報告] 『大同報』文芸欄と梅娘の初期作品、第8回植民主義と文学 国際学術会議、2012.8.23-25、韓国・原州・延世大学、主催: 植民主義と文学フォーラム。
6. [講演] 「満洲国」留日学生の文学活動と日本人文学者との交流——1930年代東京の駱駝生を中心に、2012.9.17、大連民族学院大連開発区キャンパス。
7. [論考] 日本における中国研究の弱体化を憂う 首都大学東京の現場から、『月刊武蔵野くろすと一く』2012年11月号、頁 8。
8. [講演会企画・運営・司会] 首都大学東京中国文学研究室主催学術講演会、[講師: 岸陽子、テーマ: わたしの<満洲体験>と中国文学研究](#)、2012.11.17、首都大学東京南大沢

キャンパス。

9.[著書・項目執筆] 貴志俊彦・松重充浩・松村史紀[編]：二〇世紀満洲歴史事典、吉川弘文館、2012.12.10。担当部分：22項目執筆。

10. 首都大学東京オープンユニバーシティ講座企画（通年15講座以上担当）

2011年

1. [論文] [大東亜文学者大会と「満洲国」の「文学報国」——第一回大会と「満洲国」の動静](#)、『人文学報』首都大学東京人文科学研究科、第448号、2011.3.31、頁105-125。
（2010年No.9の加筆改訂版）

2. [講演会企画・運営・司会] 首都大学東京中国文学研究室主催学術講演会、[講師：岸富美子、テーマ：わたしが見た〈満洲映画協会〉の終焉と〈東北電影〉の創設](#)、2011.5.28、首都大学東京南大沢キャンパス5号館。

3. [著書・分担執筆] 王惠珍[主編]：龍瑛宗及其同時代東亜作家論文集、台湾・国立清華大学台湾文学研究所、2011.6。担当部分：「満洲国」留日学生の文学活動——以駱駝生爲中心、頁349-378。（2009年No.3の翻訳加筆版）

4. [校閲] 彭小妍[著]、岡田英樹[訳]：漫遊する男女 横光利一の『上海』（上）、『植民地文化研究』第10号、2011.7、頁182-196。

5. [論考] 満洲国の中国人作家、『歴史読本』2011年9月号、新人物往来社、pp.200-205。

6. [総括コメント] 第7回 植民主義と文学 国際学術会議 アジア主義を問い直す——大東亜文学者大会の表と裏、2011.9.3、韓国・忠南大学、主催：植民主義と文学フォーラム。

7. [研究報告] 東北淪陥区文学研究在日本、〈東亜視野的中国学研究〉国際学術会議、2011.9.17-18、中国・北京語言大学会議中心第一会議室、主催：中国・北京語言大学漢学研究所、日本・日中人文社会科学学会。

8. [著書・分担執筆] 帝国日本の移動と東アジア植民地文学（2）、韓国・高麗大学校日本研究センター、2011.11.18。担当部分：「満洲国」中国語作家の語言環境と文学テキストにおける語言使用、頁309-345。（2010年No.3の韓国語翻訳・加筆版）

9. [研究報告] 「関東州」の文化施設概覧、「満洲国」文学研究会 第21回定例会（【特

別企画】植民地都市を掘り起こす～大連・ハルビンをめぐる記憶学～、「大連・旅順歴史地図制作」科研プロジェクト・ワークショップ)、2011.12.17、日本女子大学 目白キャンパス「百年館高層棟」。

10. 首都大学東京オープンユニバーシティ講座企画 (通年 15 講座以上担当)

2010 年

- 1.[講演会企画・運営・司会・パネリスト] 首都大学東京中国文学研究室主催学術講演会、講師：城戸久枝、テーマ：遙かなる絆 父の半生をたどる旅を終えて、2010.2.6、首都大学東京南大沢キャンパス。
- 2.[論文] 「満洲国」の留日学生仲同升のこと——「満洲プロレタリア運動史概論」について、『植民地文化研究』第9号、2010.7.15、頁 85-90。
- 3.[著書・分担執筆] 王徳威・廖炳惠・松浦恒雄・安部悟・黄英哲[編]：帝国主義と文学、研文出版、2010.7。担当部分：「満洲国」中国語作家の語言環境と文学テキストにおける語言使用、頁 202-235。(2008 年 No.8 の加筆改訂版。)
- 4.[研究報告] 「満洲国」留日学生的文学活動——以駱駝生爲中心、「龍英宗及其同時代作家国際学術研討会」2010.9.24-25、台湾・清華大学・人文社会学院、台湾清華大学・台湾文学研究所主催。
- 5.[論文] 「満洲国」留日学生的文学活動——以駱駝生爲中心、『龍英宗及其同時代作家国際学術研討会論文集』台湾清華大学台湾文学研究所、2010.9、頁 1-22。(2009 年 No.3 の中国語翻訳・加筆版)
- 6.[研究報告] 「満洲国」文学研究的趨勢和動向、「戦争、区域主体與跨文化流動——台湾、淪陷区、「満洲国」文学比較研究的開創」研討会、2010.9.27、台湾・清華大学・人文社会学院、清華大学・台湾文学研究所主催。
- 7.[市民講座] 首都大学東京オープンユニバーシティ講座、テーマ：「満洲国」と日本人、2010.11.12-12.10 (四回)、首都大学東京飯田橋キャンパス。
- 8.[研究報告] 大東亜文学者大会と「満洲国」の「文学報国」——第一回大会と「満洲国」の動静、第6回 植民主義と文学 国際学術会議 アジア主義を問い直す——大東亜文学者大会の表と裏、2010.12.4、韓国・KAIST・人文社会科学部・教授会議室(N-4 棟 1431 号)、主催：植民主義と文学フォーラム、後援：KAIST 人文社会科学研究所。
- 9.[論文] 大東亜文学者大会と「満洲国」の「文学報国」——第一回大会と「満洲国」の

動静、『第6回 植民主義と文学 国際学術会議論文集』、2010.12、韓国・植民主義と文学フォーラム、KAIST 人文社会科学研究所、頁 157-183。

10. 首都大学東京オープンユニバーシティ講座企画（通年 15 講座以上担当）

2009 年

1. [翻訳] 季紅真[著]・大久保明男[訳]：グローバルな文明融合時代の文学——世界文学にまつわる随想、『韓日中・東アジア文学フォーラム報告書』東アジア文学フォーラム日本委員会、2009.2、頁 58～65。
2. [研究報告] 日本帝国の盛衰に伴う文学者の移動と文学の越境・環流・統合、平成 21 年度日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究(B)）「日本帝国崩壊後の人口移動と社会統合に関する国際社会学的研究」（研究代表者：蘭信三・上智大学）、2009.3.14、琉球大学法文学部。
3. [論文] 「満洲国」の留日学生駱駝生と東京左連、『中国東北文化研究の広場』「満洲国」文学研究会、第二号、2009.3、頁 137-156。
4. [翻訳] 呂元明[著]・大久保明男[訳]：南満僻地の花喜露——田賁、『植民地文化研究』第 8 号、2009.7、頁 78-89。
5. [講義] 平成 21 年度東京都教職員研修会、研修会テーマ：中国等帰国及び外国人児童・生徒の日本語指導の基本、講義テーマ：中国帰国者二世・三世の現状とアイデンティティの問題、2009.8.3、首都大学東京南大沢キャンパス 91 年館。
6. [研究報告] 戦後中国東北地域の文化統合——「満洲国」時期文学に対する評価を事例に、平成 21 年度科学研究費補助金（研究種目名：基盤研究(B)）「日本帝国崩壊後の人口移動と社会統合に関する国際社会学的研究」（研究代表者：蘭信三・上智大学）、2009.8.23、北海道開拓記念館。
7. [著書/分担執筆] 蘭信三 [編]：中国残留日本人という経験 「満洲」と日本を問い続けて、勉誠出版、2009.8。 担当部分：第十章「中国残留孤児」のイメージと表象 頁 353-369 / 第十七章「中国引揚者子女」側から見る大学特別選抜入試制度の意義 頁 528-544。
8. [研究報告] 「満洲国」中国語作家の言語環境と文学テキストにおける言語使用、第 5 回 植民主義と文学 国際シンポジウム、2009.9.26、韓国・大田・韓国科学技術大学 (KAIST)。

9. [市民講座] 首都大学東京オープンユニバーシティ講座、テーマ：「満洲国」の歴史と文化、2009.11.6-11.27（四回）、首都大学東京飯田橋キャンパス。
10. [研究報告] 偽満時期的話劇概述、「区域文学与区域文学史研究方法」国際論壇（シンポジウム）、2009.11.24-25、北京・稻香湖景酒店、北京市社会科学院主催。
11. [紹介] 和仁廉夫「もう一つの帝国<植民>地——中国広東省三竈島論」、『植民地文化研究会会報』第9号、2009.11。
12. 首都大学東京オープンユニバーシティ講座企画（通年15講座以上担当）

2008年

1. [研究報告] 中国帰国者二世・三世のアイデンティティと市民権、平成19年度日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究(C)）アジア日系「帰還」移民のアイデンティティと市民権に関する研究（研究代表者：大野俊・九州大学）研究会、2008.1.26、九州大学・アジア総合政策センター。
2. [論考] 自立・互助・社会貢献による帰国者の地位向上に努めよう、『裁判ニュース』中国「残留孤児」国家賠償訴訟原告団事務局、第11号、2008.4。
3. [講演] 江戸川区立葛西小学校日本語研修会、研修会テーマ：日本語を習得する子どもたちへの理解、講演テーマ：日本語習得とアイデンティティ、2008.7.1、江戸川区立葛西小学校。
4. [講義] 平成20年度東京都教職員研修会、研修会テーマ：中国帰国児童・生徒、外国人児童・生徒教育、講義テーマ：中国帰国者二世・三世のアイデンティティ、2008.7.29、首都大学東京南大沢キャンパス91年館。
5. [書評] 井出孫六著『中国残留邦人 置き去られた六十余年』、『植民地文化研究』第7号、2008.7、頁195-197。
6. [翻訳] 呂元明[著]・大久保明男[訳]：也麗論、『植民地文化研究』第7号、2008.7、頁101～113。
7. [研究報告] 偽満洲国漢語作家的語言環境与文学文本中的語言応用、国際共同シンポジウム<帝国主義と文学>、2008.8.2-4、愛知大学車道校舎。
8. [論文] 偽満洲国漢語作家的語言環境与文学文本中的語言応用、国際共同シンポジウム<帝国主義と文学>報告者論文予稿集（愛知大学）、2008.8、頁198-224。

9. [コメント] 第4回 植民地主義と文学 国際シンポジウム、2008.10.22、韓国・ソウル・延世大学。
10. [市民講座] 首都大学東京オープンユニバーシティ講座、テーマ：こばなしで学ぶ中国語、2008.11.7-11.28（四回）、首都大学東京飯田橋キャンパス。
11. [紹介] 阮文雅「異国人の日本語文学 台北俳句会の一考察」、『植民地文化研究会会報』第8号、2008.12。
12. 首都大学東京オープンユニバーシティ講座企画（通年15講座以上担当）

2007年

1. [研究報告、パネリスト] 各生活実態調査に見る「残留孤児二世・三世」の現状、市民フォーラム「残留孤児の支援策はどうあるべきか」、2007.2.6、航空会館（東京）。
2. [論文] 張泉[主編]：偽満洲国作家古丁と日本文化、『抗日戦争時期淪陷区史料与研究』第一輯、2007.3、百花洲文芸出版社（中国・南昌）、頁175-189。
3. [著書・共同執筆] 首都大学東京中国文学研究室[編]：たのしいの中国語、2007.4。
（2006年No.4の改訂版。例文作成、CD吹き込みなど含む）
4. [市民講座] 首都大学東京オープンユニバーシティ講座、テーマ：初心者のための中国語入門講座Ⅰ、2007.5.18-6.22（六回）、首都大学東京飯田橋キャンパス。

[受賞] 第3回「法と民主主義」賞 2007年6月30日
受賞論文：尊厳ある生活保障を求め、差別構造の世代相続を絶つために――二世の立場から見た国賠訴訟の意義、『法と民主主義』2006年11月号、日本民主法律家協会、42～45頁。
5. [市民講座] 首都大学東京オープンユニバーシティ講座、テーマ：初心者のための中国語入門講座Ⅱ、2007.7.6-7.27（四回）、首都大学東京飯田橋キャンパス。
6. [翻訳] 呂元明[著]・大久保明男[訳]：「満洲」植民地時代の文学、『植民地文化研究』第6号、2007.7、頁86～97。
7. [取材・翻訳協力] 西田勝・孫継武・鄭敏[共編]：『中国農民が証す「満州開拓」の実相』小学館、2007.7。

8. [講義] 平成 19 年度東京都教職員研修会、研修会テーマ：中国帰国児童・生徒、外国人児童・生徒教育、2007.8.27、首都大学東京飯田橋キャンパス。
9. [論考] 中国引揚者子女大学特別枠入試制度の意義、『日中之橋』中国帰国者二世・三世の会、第 2 号、2007.9。
10. [論文] 『盛京時報』の文芸欄<文学>概観、『中国東北文化研究の広場』「満洲国」文学研究会、第一号、2007.9、頁 91-121。
11. [市民講座] 豊島区・秋の文化カレッジ（区民教室）、テーマ：中国を知る、2007.10.5-11.3（四回）、豊島区文化創造館（千早地域センター）。
12. [講演] 東京学芸大学国際教育センター主催「第 8 回外国人児童生徒教育フォーラム」、フォーラムテーマ：外国人児童生徒の進路選択と学力。講演テーマ：中国帰国子女にとって大学特別入試制度の意義とは、2007.10.6、中野サンプラザ。
13. [著書・共同執筆] 首都大学東京中国文学研究室 [編]：たのしいの中国語、2007.11、金星堂。（2006 年 No.4 の改訂版）
14. 首都大学東京オープンユニバーシティ講座企画（通年 15 講座以上担当）

2006 年

1. [翻訳協力] 劉鴻運 [著]・田所泉 [訳]：アカシアの町に生まれて、風濤社、2006.1。
2. [論文] 表象される「中国残留孤児」、『アジア遊学』勉誠出版、2006 年 3 月号、頁 156-166。
3. [報告書・共同執筆] シニア世代の生涯学習意欲に関するアンケート調査報告書、東京都立短期大学生涯教育研究会、2006.3。
4. [著書・共同執筆] 首都大学東京中国文学研究室 [編]：たのしいの中国語（上・下）、2006.4。
（例文作成、CD 吹き込みなど）
5. [論考] 「中国帰国者二世・三世の会」の設立と目指すもの、『日中之橋』中国帰国者二世・三世の会、第 1 号、2006.5。
6. [翻訳] 呂元明 [著]・大久保明男 [訳]：周保中の詩歌 満洲植民地時期文学の一頁、

『植民地文化研究』第5号、2006.6、頁48～59。

7. [研究報告] 「満洲国」作家古丁と日本、植民地文化研究会定例研究発表会、2006.7.9、江東区東大島文化センター。
8. [論考] 尊厳ある生活保障を求め、差別構造の世代相続を絶つために——二世の立場から見た国賠訴訟の意義、『法と民主主義』日本民主法律家協会、2006年11月号、頁42～45。
9. [市民講座] 首都大学東京オープンユニバーシティ講座、テーマ：こばなしで読む現代中国社会、2006.11.10-12.1（四回）、首都大学東京飯田橋キャンパス。
10. [研究報告] 「満洲開拓文学」に描かれる開拓移民像——日本人作家の視野と視線、平成18年度日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究(B)(1)）エスニック・マイノリティの社会参画と国民国家の社会統合に関する比較社会学的研究——中国帰国者およびエスニック移民の比較研究を中心として（研究代表者：蘭信三・京都大学）最終研究会、2006.12.23、京都大学・京大会館。
11. 首都大学東京オープンユニバーシティ講座企画（通年15講座以上担当）

2005年

1. [著書・分担執筆] 西原和海・川俣優[編]：満洲国の文化 中国東北のひとつの時代、せらび書房、2005.3。担当部分：ある青年作家の死——「満洲国」文壇における姜霊非の足跡、頁114-131。
2. [原文中国語部分の解説協力] 『草野心平日記 第一巻（1942-63）』思潮社、2005.4.25。
3. [項目執筆] 植民地文化研究会[編]：<満洲国>文化細目、不二出版、2005.6。担当部分：以下の7項目執筆。小松『木筏』頁236-237、百霊『未明集』頁325、李季瘋『雑感之感』頁413-414、但てい『安荻和馬華』頁429-430、梅娘『蟹』、『魚』頁468-471、寺田喜治郎『獅子裁判』頁495。
4. [論考] 「満洲開拓移民」の表象 日本人作家における「開拓移民」の描かれ方、『平成16年度日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究(B)(1)）調査報告書 中国帰国者の適応と共生に関する総合的研究』京都大学留学生センター、2005.9.6、頁75-83。
5. [論文] 「満洲国」の大衆啓蒙教育問題をめぐる文学者たちの認識と主張——古丁と穆儒丐における日本文化の影響を中心に、『異文化交流史の中の教育者達に見る思想・

実践の変容と現代的課題に関する学際的研究 2004年度首都大学東京傾斜配分研究費報告書』、2005.9.30、頁 51-66。

6. [紹介] 朝鮮民衆の苦難に寄り添う日本詩人、『植民地文化研究会会報』第 5 号、2005.12 (呉英珍氏の研究報告「内野健児と朝鮮」を紹介する)。

7. 首都大学東京オープンユニバーシティ講座企画 (通年 15 講座以上担当)

2004 年

1. [研究報告] 「満洲国」における中国人側の演劇活動について、三十年代中国人留学生の文芸活動に関する研究会例会、2004.2.21、市ヶ谷私学会館。

2. [論文] 「中国引揚子女」側から見た大学特別入試制度の意義、『中国帰国生徒特別枠入試の意義と課題——緊急シンポジウムの記録』京都大学留学生センター、2004.3.21、頁 19-29。

3. [劇評] 語りはじめた「中国残留日本人孤児」——構成劇「わたしたちなにじんですか?」を観て、『朱夏』せらび書房、第 19 号、2004.5。

4. [翻訳] 玉川晴子[著]: 大事な時期、重要な課題 (漢文和訳)、『中国帰国者』第 6 号、2004.5。

5. [論文] 社会文化の位相から見た中国の都市——旧「満洲国」の都市における演劇活動に関する考察、『文化表象としての都市のトポスと意味変容 2003 年度東京都立短期大学特定研究報告書』、2004.7.25、頁 49-57。

6. [市民講座] 三時間でわかる中国語入門、都立短期大学公開講座、2004.9、昭島市公民館。

7. [研究報告] 梅娘と日本の関わりについて、専修大学社会科学研究所主催「東アジア世界における文化接触の諸相」分科会「文学から見た東アジア世界の多様性と相関性」共同研究会、2004.11.29、於：専修大学。

8. [論考] 梅娘氏の東京——67年ぶりの故地再訪を伴にして、『月刊中国図書』内山書店、2004年12月号。

2003 年

1. [論文] 雑誌『文選』とその周辺——藝文志派との対立を中心に、『文化国際研究』東京都立短期大学文化国際学科、第 7 巻、2003.1.20、頁 55-68。

2. [書評] 小林金三著『白塔 満洲建国大学』、『朱夏』第18号、2003.6、せらび書房。
3. [報告書] 「満洲開拓文学」関連組織・雑誌について、『平成14年度科学研究費補助金基盤研究(B)調査報告集中国帰国者の適応と共生に関する総合的研究(その1)』京都大学留学生センター、2003.6。頁75-83。
4. [コーディネーター、司会] 緊急シンポジウム「いま中国帰国生と特別枠入試を問う」第一部、同シンポジウム実行委員会主催、2003.10.19、拓殖大学。
5. [論考] 自分の自立にも役立つ、『裁判ニュース』中国「残留孤児」国家賠償訴訟原告団事務局、第二号、2003.11。
6. [論考] 国賠訴訟と二、三世の義務、『中国帰国者』中国帰国者東京連絡会、第5号、2003.12。

2002年

1. [論考] 古丁と魯迅——「満洲国」における文学の状況①、『月刊中国図書』2002年1月号、内山書店。
2. [研究報告] 「満洲国」末期の「国策文学」について——雑誌『藝文志』を中心に、「満洲国」文学研究会第二回例会、2002.3.16、財団法人国際文化フォーラム（東京）。
3. [研究報告] 文芸誌『文選』とその周辺、「満洲国」文学研究会第三回例会、2002.9.14、明治学院大学白金校舎。
4. [論考] 小松の短編小説「楮魁、陳遠と小珍珠」を読む、『吾亦紅』第11号、2002.9。東京都立大学中国文学研究室。

2001年

1. [論考] 「中国残留孤児」老後生活保障の行方（署名：諏訪亮）、『留学生新聞』2001年8月1日号。
2. [論考] 「満洲国」で刊行された文芸雑誌『明明』について、『吾亦紅』第10号、2001.9。東京都立大学中国文学研究室。
3. [基調報告] 「満洲国」文学の研究における問題点と本研究会の課題、「満洲国」文学研究会第一回例会、2001.9.15、明治学院大学白金校舎。

4. [研究報告] 「満洲国」の文学空間——中国語読者の状況を中心に、「満洲国」文学研究会第一回例会、2001.9.15、明治学院大学白金校舎。
5. [論文、橋本雄一と共著] 「満洲国」の文学についての中国側研究、『朱夏』第16号、2001.12、せらび書房、頁35-50。

2000年

1. [著書・分担執筆] 蘭信三[編]: 「中国帰国者」の生活世界、行路社、2000.3。担当部分: 第9章 アイデンティティ・クライシスを越えて——「中国日裔青年」というアイデンティティもとめて、頁325-351。
2. [論文] 古丁の雑文集『一知半解集』を読む——『満洲文壇』批判を中心に、『人文学報』東京都立大学人文学部、第311号、2000.3、頁265-281。
3. [論考] <台湾万葉集>の重みと可能性、『朱夏』14号、2000.3、せらび書房、頁65-67。
4. [紹介] 中国現代文学の旗手 莫言氏来日 (署名: 董曉明)、『漫漫談』第2号、2000.4。
5. [紹介] 納豆談義に興じる莫言 失わない温厚なまなざし (署名: 大久保暁生)、『漫漫談』第2号、2000.4。
6. [講義] 都立高校サマーキャンパス、講義テーマ: 国際化時代における「離散」と「混合」について、2002.8、都立墨田高校。
7. [論考] 日中の混合性を活かして活躍する中国帰国子女 かいま見る現状と可能性、『留学生新聞』2000年8月15日号。
8. [論文] [王昶雄「奔流」の改訂版について——日本語版との比較から](#)、駒澤大学外国語部論集、第52号、2000.8、頁177-198。
9. [論考] 「残留孤児」是亡命之徒麼? 対近来醜化「残留孤児」子弟現象的批判 (中国語)、『北辰』第6号、2000.9.1。
10. [論考] 就「残留孤児」的称呼問題答茶山先生 (中国語)、『北辰』第6号、2000.9.1、頁30-31。

1999 年

1. [論考] 「満洲国」における『文化交流』の一側面 —— 中国語への翻訳をめぐる考察、『吾亦紅』第 8 号、東京都立大学中国文学研究室、1999.8、頁 47-55。
2. [書評] 高成鳳著『植民地鉄道と民衆生活 朝鮮・台湾・中国東北』、『朱夏』第 13 号、1999.11、せらび書房。
3. [投稿] 落葉帰根願う残留孤児たち、『朝日新聞』 「声」欄、1999.11.9。
4. [寄稿] 踊る兵馬俑と「紅色娘子軍」 (署名：大久保暁生)、『漫慢談』第 1 号、1999.12。

1998 年

1. [翻訳] 藤井省三[著]・大久保明男[訳]：恋愛中の胡適——美国女友艾迪絲・克利福德・偉蓮司與中国現代化理論的形成、『中国文哲研究通信』第 8 卷第 1 期、台湾・中央研究院中国文哲研究所、1998.3。原著：恋する胡適、『20 世紀知識社会の構図』岩波書店、1994 年。(下記 1998 年 No.6 の改訂版)
2. [報告書] 中国帰国者二、三世のアイデンティティ、蘭信三[編]：中国帰国者をめぐる地域社会の受容と排除に関する比較社会学的研究(平成 7~9 年度文部省科学研究費補助金研究成果報告書、京都大学留学生センター、1998.3)。
3. [エッセイ] 刊首寄語(中国語)、『北辰』第四号、1998.5、北辰社。
4. [エッセイ] 春節の匂い、『北辰』第四号、1998.5。
5. [論考] 中国残留孤児的称呼應該取消(中国語)、『留学生新聞』、1998 年 7 月 1 日号。
6. [訳書・共訳] 吳俊[編]：東洋文論、中国・浙江人民出版社、1998.8。担当部分：藤井省三：恋愛中の胡適(原文「恋する胡適」『20 世紀知識社会の構図』岩波書店、1994)。和文漢訳。頁 173-199。
7. [論考] 脱ピジンとしての境界言語——我が家の日中混合語、『東方』212 号、1998 年 10 月号、東方書店。
8. [紹介] 中国日裔青年文芸雑誌『北辰』、『朱夏』せらび書房、11 号、1998.10、頁 77-82。

1997年

1. [訳書・共訳] 南雲智[監訳]: 胡風回想録、論創社、1997.2、中文和訳。
(*下訳、校正などの共同作業)
2. [詩] 行僧 (中国語、署名: 董晓明)、『北辰』第3号、1997.4。
3. [論文] 残留孤児呼称は「日系中国人」に、『朝日新聞』「論壇」欄、1997年8月12日朝刊。
4. [論考] 『大地の子』批判、『吾亦紅』第7号、1997.8。東京都立大学中国文学研究室。

1996年

1. [論文] 莫言論—— 痛苦の文学 感覚描写と叙述方法を中心に、東京都立大学・人文科学研究科・中国文学専攻・修士学位論文、1996.1提出、未公刊。
2. [著書・共編] 南雲智[主編]: 「緑旗」総目録・著者名別索引、汲古書院、1996.6。
(*全般にわたる共同作業)
3. [投稿] 負担に苦しむ残留孤児二世、『朝日新聞』「声」欄、1996.6.21。
4. [論考] 『北辰』縁起 (中国語、署名: 董晓明)、『北辰』創刊号、1996.7、北辰社。
5. [論考] 中国日裔青年の定義 (中国語、署名: 董晓明)、『北辰』創刊号、1996.7。
6. [書評] 引き裂かれたアイデンティティ—— 『台湾万葉集』読後、『吾亦紅』第6号、1996.8。東京都立大学中国文学研究室。
7. [エッセイ] 陰雨休日中聴「梁祝」所感 (中国語、署名: 董晓明)、『北辰』第二号、1996.10。
8. [論考] 中国日裔青年の特殊性とその意義、『北辰』第二号、1996.10。
9. [論考] 雑誌『北辰』の誕生とそのめざすもの、『国際人流』(財)入管協会、114号、1996.11。